

原発避難先のいじめで指導 文科省

2016年11月18日05時00分

福島第一原発事故に伴い、福島県から横浜市に自主避難した中学1年の男子生徒がいじめを受けて不登校になった問題で、文部科学省は17日、避難している子どものケアやいじめ防止対策推進法に基づく対応の徹底について、各自治体の教育委員会の生徒指導担当者らに指導した。文科省は会議で、自治体の教委担当者ら約200人に対し、学校の対応の問題点について説明。原発事故で避難している子どもへのケアに特に留意するよう促した。同省は16日も、横浜市教委の幹部や担当者呼び、今回の対応について対策法に照らして検証するよう指導した。

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.